

第14回 UIIL-ILP (国際試験所間比較試験) の募集・実施要領

2017年4月17日

2017年6月21日最終版

一般社団法人日本環境測定分析協会
UIIL-ILP 委員会事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会は、2001年より国際民間分析試験所連合(UIIL¹)の Board Member として活動しています。

このたび、第14回 UIIL-ILP²(国際試験所間比較試験³)を実施することになりましたので、参加試験所を募集いたします。UIIL-ILP は、国際的な試験所間比較試験として、2006年より実施しており、現在までに、日本、アメリカ、アルゼンチン、オランダ、カナダ、スペイン、ドイツ、ナイジェリア、ブラジル、フランス、ベルギー、ポルトガル、メキシコ、中国及び韓国の民間試験所が参加しています。

第14回 UIIL-ILP では、下記を特徴としています。

1. 試料の形態は、夾雑物をほとんど含まない液体であること。
2. 試験対象項目を世界各国で興味を持たれている3項目としたこと。
3. 値段をできるだけ安価にしたこと。

できるだけ多くの試験所が UIIL-ILP にご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

— 参加要領・実施要領 —

1. 試験名称 天然水中の硝酸、けい酸及びりん酸
※結果の報告は、試験対象項目の中で貴試験所が報告可能な項目のみで結構です。

2. スケジュール (予定)

申込受付	2017年4月17日(月)~5月31日(水)
試料配付	2017年6月26又は27日(月、火) ※期日指定とします
報告期限	2017年8月10日(木) 上記報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
報告書発行	2017年11月頃

※試料配付及び報告期限については、試料調製、輸送事情等により変更する場合があります。変更時には、速やかにご連絡いたします。

3. 申込方法
「ログイン ID (メールアドレス)、パスワード」を使ってインターネットから申込、報告ができます。インターネットで申込、報告ができない場合は、代理入力依頼用紙を使用して FAX で申込んでください。詳細については、(一社)日本環境測定分析協会の (<https://www.jemca.or.jp/>)の「UIIL-ILP」をご覧ください。
お問合せ等ありましたら、下記までご連絡ください。

(一社)日本環境測定分析協会 UIIL-ILP 委員会事務局
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル
TEL 03-3878-2811 FAX 03-3878-2639

4. 参加費用の払込
(ア) 参加費用は 以下の通りです。
日環協正会員 20,000円 (税込)
日環協正会員以外 31,000円 (税込)
(イ) 試料同梱の請求書(兼払込取扱票)を用い、(一社)日本環境測定分析協会へ参加費用の振込みをお願いいたします。
(ウ) 参加費用には、試料費、報告書及び参加認定証並びに輸送費などの全費用が含まれます。

¹ UIIL: Union Internationale des Laboratoires Indépendants

² ILP: Inter Laboratory Practice

³ 試験所間比較試験: 第10回 UIIL-ILP より「Inter Laboratory Practice」の日本語表記を「試験所間比較試験」としております。

5. 試料

(ア) 次の 2 試料です。

(1) 試料 1 UILI-ILP14-2017 natural water-1

(2) 試料 2 UILI-ILP14-2017 natural water-2

(イ) 日本の参加試験所へは、(一社) 日本環境測定分析協会から配付します。

(ウ) 試料 1 及び試料 2 は、それぞれ 100 mL プラスチック製容器に充填してあります。

6. 試験対象項目

(ア) 試験対象項目は、以下のとおりです。

硝酸イオン (NO_3^-) イオン状シリカ (SiO_2) リン酸イオン (PO_4^{3-})

(イ) 2 試料中の各試験対象項目の予想される濃度範囲は、次の通りです。なお、いずれの試料も炭酸ナトリウムを添加・調製しておりますので、前処理・測定の際はご注意ください。

(ウ)

試験対象項目	濃度範囲 (単位 : mg/L)
硝酸イオン (NO_3^-)	0.5 ~ 5
イオン状シリカ (SiO_2)	0.5 ~ 5
リン酸イオン (PO_4^{3-})	0.5 ~ 5

(エ) 送付試料は、認証値等を持っていません。

7. 試料の前処理方法及び測定方法

前処理方法、測定方法は指定いたしません(貴試験所に一任いたします)が、添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。なお、配付試料は、ろ過操作不要です。

8. 試験結果等の報告

(ア) 試験結果は、 NO_3^- 、 SiO_2 、 PO_4^{3-} としての濃度及び測定日を報告してください。

(イ) 各試料について前処理(試料の秤り取り)から独立した測定を 2 度行い、2 つの結果の平均値を報告してください。1 回しか測定できなかった場合は、その測定値で構いません。

(ウ) 報告値は有効数字 3 桁で、試料 1 及び試料 2 について報告してください。試料 1 及び試料 2 両方の報告がないと無効となります。

(エ) 結果の報告については、試験対象項目の中で、貴試験所で報告可能な項目のみで結構です。

(オ) 結果報告書の記入要領について

(1) 前処理方法(Pre-treatment Method)及び測定方法(Measurement by Instrument)については添付資料-1 の(A)及び(B)の『No.』欄の数字を記入してください。組み合わせ採用した場合は複数の『No.』欄の数字を記入してください。

なお、添付資料-1 は試料配付前までに公表いたします。

(2) 前処理方法について、“その他”を選択される場合は具体的な方法名を備考欄に記入してください。

(3) 試験結果については、『試料 1』及び『試料 2』の欄に単位 : mg/L で記入してください。

(4) 報告用紙については、所定の第 14 回 UILI-ILP 結果報告書用紙を使用してください。修正時も同様とします。

所定の報告書用紙を使用しない報告は受け付けません。

(カ) 結果報告期限は、2017 年 8 月 10 日(木)です。

※ 上記結果報告期限は、日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

9. 試験結果報告のとりまとめ(報告書)

(ア) 試験結果のとりまとめ(正式版)の発行は 2017 年 11 月頃となる予定です。

(イ) 報告書は、電子媒体及び印刷物で参加試験所に配付される予定です。

- (ウ) 報告書には、四分位数法(APLAC T002)を用いた z-score (ISO/IEC 17043)及び Confidence Ellipse for Youden Plot (ISO 13528) が含まれる予定です。
- (エ) 測定方法を統一した試験ではありませんので、報告書に記載される各種統計量は参考としてご使用ください。例えば、中央値が「特定の値」に近似しているとは限りません。
- (オ) 報告書には報告試験所名が記載されます。各試験所の報告値は試験所番号で識別されます。試験所名と試験所番号の関連付けは記載されません。

10.その他

- (ア) 本試験自体あるいは本試験の試験結果のとりまとめ(報告書)は、参加試験所あるいは関係する個人の能力や優劣を主催者や第3者が判定するものではありません。
- (イ) 試験結果を報告された試験所には UIILP から参加認定証が発行されます。

以上

UIILP 委員会

	代表役員	UIILP 役職	国	所属協会(企業)名
委員長	Drs. Luc H A Scholtis	会 長	オランダ	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)
	Dr. Manahén Fernandez-Alonso	前 会 長 名誉会員	スぺイン	
	Dr. Alvaro Silva Ribeiro	副 会 長	ポルトガル	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (RELACRE)
	Mr. Jordi Oliver-Rodés Sen	副 会 長	スぺイン	Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)
	Dr. Toru Matsumura	財務担当	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
	Ms. Mary-Anne Adeeko	事務局長	ナイジェリア	Institute of Public Analysts of Nigeria (IPAN)
	Dr. Alfredo Montes-Nino	非協会 会員代表	ブラジル	Micriobioticos Analises Laboratoriais 社
	Mr. Jan Soers	非協会 会員代表	ベルギー	GEOS 社
	Mr. Gib G McIntee	国代表 役員	カナダ	Canadian Council of Independent Laboratories (CCIL)
	Dr. J. Horacio Denari	国代表 役員	アルゼンチン	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines (CALIBA)
	Mr. Masahiro Tanaka	国代表 役員代理	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
事務局	Ms. Melissa M. Fernández Valero	事 務 局	スぺイン	

日本事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会 UIILP 委員会
 委員長 松村 徹
 事務局 笹尾 照夫

第 14 回 UIIL-ILP 参加申込書「代理入力依頼」

天然水中の硝酸、けい酸及びりん酸

試験所情報

ログイン ID (メールアドレス)		※ID が不明の場合は、事務局までお問い合わせください。
社 名		
事業所 (支社) 名		
社名 及び 事業所名カナ		
区 分		日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。
実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
試料送り先	※試料の送り先が住所と異なる場合は記入してください。	
	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
	宛名	

申込内容

試料申込数	1	組 ※1 試験所につき 1 組のみを原則とする
-------	---	-------------------------

事務局記入欄	
--------	--

第 14 回 UIIL-ILP 結果報告書「代理入力依頼」

(1/2)

天然水中の硝酸、けい酸及びりん酸

ログイン ID (メールアドレス)		※ID が不明の場合は、事務局までお問い合わせください。
社 名		
事業所 (支社) 名		
社名 及び 事業所名カナ		
区 分		日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。
実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	

- ・ 報告期限 : 2017年8月10日(木)
報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
- ・ 報告桁数は、有効数字 3 桁とします。
- ・ 試料 1、試料 2 ともに添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目ごとに)番号で記入してください。
- ・ 前処理方法、測定方法において、“その他”を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。
- ・ 「代理入力」による報告には、第 14 回 UIIL-ILP 結果報告書 (本用紙含む計 2 ページ) を使用してください。修正時も同様とします。

事務局記入欄	
--------	--

第 14 回 UIIL-ILP 結果報告書「代理入力依頼」

(2/2)

社名 及び 事業所(支社)名	
----------------	--

試験対象項目	前処理方法 No		測定方法 No		試験結果(単位 : mg/L)		測定日
	No	備考	No	備考	試料1	試料2	
硝酸イオン (NO ₃ ⁻)							
イオン状シリカ (SiO ₂)							
りん酸イオン (PO ₄ ³⁻)							

測定日記入例 : 2017年6月30日

- ※ 報告期限 : **2017年8月10日(木)**
報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
- ※ **報告桁数は、有効数字3桁**とします。
- ※ 試料1、試料2ともに**添付資料-1**を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。
- ※ 前処理方法、測定方法において、“その他”を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。
- ※ 「代理入力」による報告には、第14回 UIIL-ILP 結果報告書(本用紙含む計2ページ)を使用してください。修正時も同様とします。

(A) 前処理方法(Pre-treatment Method)

No.	前処理方法	方法(Method)	略号
1	前処理なし	Non pre-treatment	NON
2	酸添加	Addition of acid	Acid
3	還元蒸留	Reduction distillation	RD
4	銅・カドミウムカラム還元 (カドミウム還元)	Copper-cadmium column reduction (Cadmium column reduction)	CCD
99	その他 (方法を備考欄に簡潔に記入してください)	Others	Others

(B) 測定方法(Measurement by Instrument)

No.	測定機器	機器(Instrument)	略号
1	滴定法 ※	Titration	Tit
2	重量法	Gravimetric method	Gra
3	比色/吸光光度法 (モリブデン黄吸光光度法)	Absorption photometry (molybdenum yellow)	AS(MY)
4	比色/吸光光度法/流れ分析法 (モリブデン青吸光光度法)	Absorption photometry/Flow analysis (molybdenum blue)	AS(MB)
5	比色/吸光光度法/流れ分析法 (モリブデン青抽出吸光光度法) ※	Absorption photometry/Flow analysis (molybdenum blue extraction)	AS(MBE)
6	比色/吸光光度法 (インドフェノール青吸光光度法) ※	Absorption photometry/Flow analysis (indophenol)	AS(IN)
7	比色/吸光光度法/流れ分析法 (ナフチルエチレンジアミン吸光光度法) ※	Absorption photometry/Flow analysis (naphthyl ethylenediamine)	AS(NE)
8	原子吸光分析(フレイム法)	Atomic absorption spectrophotometry (flame)	AAS
9	原子吸光分析(ファーネス法)	Atomic absorption spectrophotometry (furnace)	ETAAS
10	誘導結合プラズマ発光分光分析	ICP-AES	ICP-AES
11	誘導結合プラズマ質量分析	ICP-MS	ICP-MS
12	イオンクロマトグラフ	Ion-chromatography	IC
99	その他 (方法を備考欄に簡潔に記入してください)	Others	Others

※ 還元蒸留、銅・カドミウムカラム還元、カドミウム還元を実施した場合は、(A)前処理方法にて選択してください。流れ分析方法の場合も、同様の原理であれば (A)前処理方法にて選択してください。